

# デーヴォ ガイド



2024.1.1-7

But **grow** in the grace and knowledge of our Lord and Savior Jesus Christ. To him be glory both now and forever! Amen. II Peter 3:18

## L T G ガイド

- ①お互いへの感謝と誉めることを分かち合しましょう。(2~3つ)
- ②1週間の罪を言い表して悔い改め、互いに祈りましょう。
- ③礼拝メッセージの分かち合いをします。  
礼拝メッセージの分かち合いが難しい場合はディボーションの分かち合い(なるべく短く)
- ④預言の祈り(主の御心を宣言して祈り)をします。

## セル ガイド

- ①祈り、賛美によって主がここにいてくださることを信じ、聖霊様があがめます。
- ②互いの存在を感謝し、尊敬するところを分かち合しましょう。
- ③ディボーションの分かち合いをします。
- ④セルの目的と働きについてみなで共有して、祈り、遣わされて行きましょう。

## 家族礼拝ガイド

年長のクリスチャンがリードしてください。進め方にはいろいろな意見が出るかもしれませんが、「主に期待する」信仰が最も大切です。いつもの家族でいいのです。

- ①この1週間で神様はすばらしいと感じたのはどんなこと?
- ②この1週間でお互いにどんなことを感謝しますか?(または誉めたいですか?)1つだけ。
- ③聖書のみことばから、どんな実践をして、またどんな恵みがありましたか?
- ④互いの必要のために祈りましょう。

## 礼拝メッセージフィードバック

<今日の聖書箇所は…>

①神のみこころは?(信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちなど)

②どんな思いになりましたか?(感情や願いなど)

③生き方にどう適用しますか?(あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか?)

④この世にあって何を実践しますか?

## ➤ 1日 月曜

マルコ



- 1:1 神の子、イエス・キリストの福音のはじめ。  
1:2 預言者イザヤの書にこのように書かれている。「見よ。わたしは、わたしの使いをあなたの前に遣わす。彼はあなたの道を備える。  
1:3 荒野で叫ぶ者の声がする。『主の道を用意せよ。主の通られる道をまっすぐにせよ。』」そのとおりに、  
1:4 バプテスマのヨハネが荒野に現れ、罪の赦しに導く悔い改めのバプテスマを宣べ伝えた。  
1:5 ユダヤ地方の全域とエルサレムの住民はみな、ヨハネのもとにやって来て、自分の罪を告白し、ヨルダン川で彼からバプテスマを受けていた。  
1:6 ヨハネはらくだの毛の衣を着て、腰に革の帯を締め、いなごと野蜜を食べていた。  
1:7 ヨハネはこう宣べ伝えた。「私よりも力のある方が私の後に来られます。私には、かがんでその方の履き物のひもを解く資格もありません。  
1:8 私はあなたがたに水でバプテスマを授けましたが、この方は聖霊によってバプテスマをお授けになります。」  
1:9 そのころ、イエスはガリラヤのナザレからやって来て、ヨルダン川でヨハネからバプテスマを受けられた。  
1:10 イエスは、水の中から上がるとすぐに、天が裂けて御霊が鳩のようにご自分に降って来るのをご覧になった。  
1:11 すると天から声がした。「あなたはわたしの愛する子。わたしはあなたを喜ぶ。」  
1:12 それからすぐに、御霊はイエスを荒野に

追いやられた。

- 1:13 イエスは四十日間荒野にいて、サタンの試みを受けられた。イエスは野の獣とともにおられ、御使いたちが仕えていた。  
1:14 ヨハネが捕らえられた後、イエスはガリラヤに行き、神の福音を宣べ伝えて言われた。  
1:15 「時が満ち、神の国が近づいた。悔い改めて福音を信じなさい。」

イエス様は旧約に預言された救い主としてこの地上に来られましたし、聖書ではそのことがまず証明される必要がありました。ですからこのようにバプテスマのヨハネがイエス様を紹介し、それが聖書に記されたのです。

ヨハネがイエス様のことを伝えたのは、まさに私たちの伝道と同じ役目です。「あとに来る方（イエス様）」がいかに偉大な方であるかを明言し、自分は「履き物のひもを解く資格」もないと、謙っています。

またイエス様は、天の父が声をかけてその信任を宣言なさった方です。聖霊と父と御子とがまさに一体となって、イエス様のメシアとして就任式がなされました。私たちの洗礼もそのように、主のはたらき人としての就任式でもあるのです。洗礼を受けた者であるなら、誰もが御霊によって主のために働くようになっているのです。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



## 2日 火曜

マルコ

1:16 イエスはガリラヤ湖のほとりを通り、シモンとシモンの兄弟アンデレが、湖で網を打っているのをご覧になった。彼らは漁師であった。

1:17 イエスは彼らに言われた。「わたしについて来なさい。人間をとる漁師にしてあげよう。」

1:18 すると、彼らはすぐに網を捨てて、イエスに従った。

1:19 また少し先に行き、ゼベダイの子ヤコブと、その兄弟ヨハネをご覧になった。彼らは舟の中で網を繕っていた。

1:20 イエスはすぐに彼らをお呼びになった。すると彼らは、父ゼベダイを雇い人たちとともに舟に残して、イエスの後について行った。

1:21 それから、一行はカペナウムに入った。イエスはさっそく、安息日に会堂に入って教えられた。

1:22 人々はその教えに驚いた。イエスが、律法学者たちのようではなく、権威ある者として教えられたからである。

1:23 ちょうどそのとき、汚れた霊につかれた人がその会堂にいて、こう叫んだ。

1:24 「ナザレの人イエスよ、私たちと何の関係があるのですか。私たちを滅ぼしに来たのですか。私はあなたがどなたなのか知っています。神の聖者です。」

1:25 イエスは彼を叱って、「黙れ。この人から出て行け」と言われた。

1:26 すると、汚れた霊はその人を引きつけさせ、大声をあげて、その人から出て行った。

1:27 人々はみな驚いて、互いに論じ合った。「これは何だ。権威ある新しい教えだ。この

方が汚れた霊にお命じになると、彼らは従うのだ。」

1:28 こうして、イエスの評判はすぐに、ガリラヤ周辺の全域、いたるところに広まった。

1:29 一行は会堂を出るとすぐに、シモンとアンデレの家に入った。ヤコブとヨハネも一緒であった。

1:30 シモンの姑が熱を出して横になっていたので、人々はさっそく、彼女のことをイエスに知らせた。

1:31 イエスはそばに近寄り、手を取って起こされた。すると熱がひいた。彼女は人々をもてなした。

1:32 夕方になり日が沈むと、人々は病人や悪霊につかれた人をみな、イエスのもとに連れて来た。

1:33 こうして町中の人々が戸口に集まって来た。

1:34 イエスは、様々な病気にかかっている多くの人を癒やされた。また、多くの悪霊を追い出し、悪霊どもがものを言うのをお許しにならなかった。彼らがイエスのことを知っていたからである。

イエス様の福音を伝えたのは弟子たちで、新約では救われた人々を弟子と呼んでいました。弟子が次の弟子を育てるのです。ですから私たちも主の弟子であって、シモンたちのように、人生のどこかで「わたしについて来なさい。」とイエス様が声をかけられているのです。弟子としての自覚を新たにし、主についてゆきましょう。

イエス様は悪霊をも追い出す権威のある方です。サタンは関係を壊すように働きますから、多くの人間関係のもつれの原因は、悪霊の影響を否定できません。また悪霊の影響で聖霊様に従えないで



いる人も多いのです。主の権威によって悪霊を追い出し、聖霊に従いましょう。

イエス様に従うなら、その家族も祝福され、シモンのしゅうとめのように、いやされて働きができるようになります。イエス様の権威は私たちを弟子とし、聖霊によって勝利し、いやして役に立つものとしてくださると知りましょう。そのように生きましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



## 3日 水曜

マルコ

1:35 さて、イエスは朝早く、まだ暗いうちに起きて寂しいところに出かけて行き、そこで祈っておられた。

1:36 すると、シモンとその仲間たちがイエスの後を追って来て、

1:37 彼を見つけ、「皆があなたを捜しています」と言った。

1:38 イエスは彼らに言われた。「さあ、近くにある別の町や村へ行こう。わたしはそこでも福音を伝えよう。そのために、わたしは出て来たのだから。」

1:39 こうしてイエスは、ガリラヤ全域にわたって、彼らの会堂で宣べ伝え、悪霊を追い出しておられた。

1:40 さて、ツアラアトに冒された人がイエスのもとに来て、ひざまずいて懇願した。「お心一つで、私をきよくすることがおできになります。」

1:41 イエスは深くあわれみ、手を伸ばして彼にさわり、「わたしの心だ。きよくなれ」と言われた。

1:42 すると、すぐにツアラアトが消えて、その人はきよくなった。

1:43 イエスは彼を厳しく戒めて、すぐに立ち去らせた。

1:44 そのとき彼にこう言われた。「だれにも何も話さないように気をつけなさい。ただ行って、自分を祭司に見せなさい。そして、人々への証しのために、モーセが命じた物をもって、あなたのきよめのささげ物をしなさい。」

1:45 ところが、彼は出て行ってふれ回り、この出来事を言い広め始めた。そのため、イエ



スはもはや表立って町に入ることができず、町の外の寂しいところにおられた。しかし、人々はいたるところからイエスのもとにやって来た。

イエス様は私たちの救い主ですが、また模範でもあります。天の父との関係を基本としながら、地上でどのように生きてゆくのかを身をもって示してくださいました。すなわち、一日が始まる前に祈って、神様からみこころと力をいただき、そして福音のために世に出てゆくのです。そのように毎日を過ごしましょう。

イエス様が病をいやしたのは、イザヤに預言されたメシアであることを証明するためです。ですからまず旧約の思想によって、そのメシア性を認められる必要がありました。ですから「まず祭司に」と言われたのです。

しかし救われた者の喜びは隠しておくことができません。結局多くの群衆が押し寄せて、イエス様の立場は悪くなり、十字架へと事態が展開してゆくことになりました。しかしこれも神様の大きな摂理であるのです。

救いの喜びで私たちが心から主を愛して行うことは、天の父は摂理の中で益としてくださり、主の尊い働きのために用いてくださいます。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



## ➤ 4日 木曜

マルコ



2:1 数日たって、イエスが再びカペナウムに来られると、家におられることが知れ渡った。

2:2 それで多くの人が集まったため、戸口のところまで隙間もないほどになった。イエスは、この人たちにみことばを話しておられた。

2:3 すると、人々が一人の中風の人を、みもとに連れて来た。彼は四人の人に担がれていた。

2:4 彼らは群衆のためにイエスに近づくことができなかつたので、イエスがおられるあたりの屋根をはがし、穴を開けて、中風の人が寝ている寝床をつり降ろした。

2:5 イエスは彼らの信仰を見て、中風の人に「子よ、あなたの罪は赦された」と言われた。

2:6 ところが、律法学者が何人かそこに座っていて、心の中であれこれと考えた。

2:7 「この人は、なぜこのようなことを言うのか。神を冒<sup>?</sup>している。神おひとりのほかに、だれが罪を赦すことができるだろうか。」

2:8 彼らが心のうちでこのようにあれこれと考えているのを、イエスはすぐにご自分の霊で見抜いて言われた。「なぜ、あなたがたは心の中でそんなことを考えているのか。」

2:9 中風の人に『あなたの罪は赦された』と言うのと、『起きて、寝床をたたんで歩け』と言うのと、どちらが易しいか。

2:10 しかし、人の子が地上で罪を赦す権威を持っていることを、あなたがたが知るために――。」そう言って、中風の人に言われた。

2:11 「あなたに言う。起きなさい。寝床を担いで、家に帰りなさい。」

2:12 すると彼は立ち上がり、すぐに寝床を担ぎ、皆の前を出て行った。それで皆は驚き、「こんなことは、いまだかつて見たことがない」と言って神をあがめた。

マルコ福音書の目的はイエス様がいかに力ある神の働き手であったかということを示すためです。ですから中風の人のいやしも、イエス様だけが登場すれば良いようですが、しかしここでは四人の友人とその信仰が表されています。共同体をイエス様が愛し、必要とされているのだとわかります。

また共同体の本当の愛とは、人間的な知恵やことばで改善を図ろうという小手先のことではなく、その人をイエス様のところへ運んであげる（現代においては心を近づけてあげる）ことだというのが分ります。

なぜならイエス様こそが、問題の根本である罪を赦し、その人をきよめ、「すぐに起き上がり」るようにして下さる方だからです。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



## 5日 金曜

### マルコ



2:13 イエスはまた湖のほとりへ出て行かれた。すると群衆がみな、みもとにやって来たので、彼らに教えられた。

2:14 イエスは道を通りながら、アルパヨの子レビが収税所に座っているのを見て、「わたしについて来なさい」と言われた。すると、彼は立ち上がってイエスに従った。

2:15 それからイエスは、レビの家で食卓に着かれた。取税人たちや罪人たちも大勢、イエスや弟子たちとともに食卓に着いていた。大勢の人々がいて、イエスに従っていたのである。

2:16 パリサイ派の律法学者たちは、イエスが罪人や取税人たちと一緒に食事をしているのを見て、弟子たちに言った。「なぜ、あの人は取税人や罪人たちと一緒に食事をするのですか。」

2:17 これを聞いて、イエスは彼らにこう言われた。「医者が必要とするのは、丈夫な人ではなく病人です。わたしが来たのは、正しい人を招くためではなく、罪人を招くためです。」

2:18 さて、ヨハネの弟子たちとパリサイ人たちは、断食をしていた。そこで、人々はイエスのもとに来て言った。「ヨハネの弟子たちやパリサイ人の弟子たちは断食をしているのに、なぜあなたの弟子たちは断食をしないのですか。」

2:19 イエスは彼らに言われた。「花婿に付き添う友人たちは、花婿と一緒にいる間、断食できるでしょうか。花婿と一緒にいる間は、断食できないのです。」

2:20 しかし、彼らから花婿が取り去られる日

が来ます。その日には断食をします。

2:21 だれも、真新しい布切れで古い衣に継ぎを当てたりはしません。そんなことをすれば、継ぎ切れが衣を、新しいものが古いものを引き裂き、破れはもっとひどくなります。

2:22 まただれも、新しいぶどう酒を古い皮袋に入れたりはしません。そんなことをすれば、ぶどう酒は皮袋を裂き、ぶどう酒も皮袋もだめになります。新しいぶどう酒は新しい皮袋に入れるものです。」

このようにイエス様は「罪人を招く」ために来られたのですから、私たちは罪を感じて落ち込んでいるとき、また（この時代の病の考えのように）罪から来る結果を受けてしまって苦しんでいるときにこそ、イエス様に近づく必要があります。

たとえこの時代のパリサイや律法学者のように糾弾する人がいたとしても、イエス様は守ってくださいますし、本当のきよめを与えてくださいます。

それだけでなく、レビ（マタイ）のように。主のために素晴らしい使命と人生を与えてくださるのです。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



## 6日 土曜

マルコ

2:23 ある安息日に、イエスが麦畑を歩いておられたときのことである。弟子たちは、道を進みながら穂を摘み始めた。

2:24 すると、パリサイ人たちがイエスに言った。「ご覧なさい。なぜ彼らは、安息日にしてはならないことをするのですか。」

2:25 イエスは言われた。「ダビデと供の者たちが食べ物がなくて空腹になったとき、ダビデが何をしたら、読んだことがないのですか。」

2:26 大祭司エブヤタルのころ、どのようにして、ダビデが神の家に入り、祭司以外の人が食べてはならない臨在のパンを食べて、一緒にいた人たちにも与えたか、読んだことがないのですか。」

2:27 そして言われた。「安息日は人のために設けられたのです。人が安息日のために造られたものではありません。」

2:28 ですから、人の子は安息日にも主です。」

3:1 イエスは再び会堂に入られた。そこに片手の萎えた人がいた。

3:2 人々は、イエスがこの人を安息日に治すかどうか、じっと見ていた。イエスを訴えるためであった。

3:3 イエスは、片手の萎えたその人に言われた。「真ん中に立ちなさい。」

3:4 それから彼らに言われた。「安息日に律法にかなっているのは、善を行うことですか、それとも悪を行うことですか。いのちを救うことですか、それとも殺すことですか。」彼らは黙っていた。

3:5 イエスは怒って彼らを見回し、その心の



頑なさを嘆き悲しみながら、その人に「手を伸ばしなさい」と言われた。彼が手を伸ばすと、手は元どおりになった。

3:6 パリサイ人たちは出て行ってすぐに、ヘロデ党の者たちと一緒に、どうやってイエスを殺そうかと相談し始めた。

安息日は守らなければなりません。それがなければ私たちがどこから来てどこに行くのか、また誰によって生かされているのか、誰によって救われたのか、誰が人生の導き手なのか分らなくなってしまいます。それらを知識では分っていても、それを行動に移せなくなってしまい、結局本当の人生が送れなくなってしまうのです。何よりも安息日は主に従うかどうかの試金石でもありますから、安息日を守らない人は、他のことでも主に従えないのです。

しかしそれはパリサイ人のように律法的であってはなりません。むしろ喜んで、礼拝を楽しみにして、花婿をまつ花嫁のようにわくわくしながら礼拝するものなのです。

なぜなら安息日こそ主の力が表される日でもあり、イエス様が病んだ人の手を治されたように、私たちにとって喜びの日だからです。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



## 7日 日曜

### マルコ



3:7 それから、イエスは弟子たちとともに湖の方に退かれた。すると、ガリラヤから出て来た非常に大勢の人々がついて来た。また、ユダヤから、

3:8 エルサレムから、イドマヤから、ヨルダンの川向こうや、ツロ、シドンのあたりからも、非常に大勢の人々が、イエスが行っておられることを聞いて、みもとにやって来た。

3:9 イエスは、群衆が押し寄せて来ないように、ご自分のために小舟を用意しておくよう、弟子たちに言われた。

3:10 イエスが多くの人を癒やされたので、病気に悩む人たちがみな、イエスにさわろうとして、みもとに押し寄せて来たのである。

3:11 汚れた霊どもは、イエスを見るたびに御前にひれ伏して「あなたは神の子です」と叫んだ。

3:12 イエスをご自分のことを知らせないように、彼らを厳しく戒められた。

3:13 さて、イエスが山に登り、ご自分が望む者たちを呼び寄せられると、彼らはみもとに来た。

3:14 イエスは十二人を任命し、彼らを使徒と呼ばれた。それは、彼らをご自分のそばに置くため、また彼らを遣わして宣教をさせ、

3:15 彼らに悪霊を追い出す権威を持たせるためであった。

3:16 こうしてイエスは十二人を任命された。シモンにはペテロという名をつけ、

3:17 ゼベダイの子ヤコブと、ヤコブの兄弟ヨハネ、この二人にはボアネルゲ、すなわち、雷の子という名をつけられた。

3:18 さらに、アンデレ、ピリポ、バルトロマ

イ、マタイ、トマス、アルパヨの子ヤコブ、  
タダイ、熱心党のシモン、

3:19 イスカリオテのユダを任命された。このユダがイエスを裏切ったのである。

イエス様は多くのみわざを行われましたが、それは旧約に預言された救い主であることを示すためであって、ご自分の名声を上げるためではありませんでした。ですから多くの人が押し寄せても、ご自分の王国を作ろうとはなさらなかったのです。

私たちは主のために働きを始めても、それがうまくいったり誉められたりすると、何か動機に変化が生じて、自分の得になることを思わず求めてしまうことがあります。イエス様のために生きるならイエス様を見習いましょう。

悪霊はイエス様が救い主であって、自分たちを滅ぼすために地上に来られたということを知っていました。そしてもちろんイエス様の敵であることには違いありません。真理を知っていることは大切ですが、必ずしも徳にはなりません。真理であるイエス様に従うことです。

イエス様は弟子を選ばれ、彼らを後の霊的なリーダーにしましたが、それはあくまでもイエス様ご自身が「お望みになる者たち」でした。このように教会のリーダーは、イエス様によって選ばれる必要があります。もしも規則が選挙であるなら、投票者はイエス様のみこころをよく知って、従いつつ投票する必要があります。それができないなら、神の群れは神様から離れていくことになってしまいます。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

